

関係機関各位

平成29年9月20日

富良野市長 能登 芳昭
富良野商工会議所 会頭 荒木 毅
ふらのまちづくり株式会社 代表取締役社長 西本 伸顕

富良野市中心市街地の基準地価が4年連続の上昇 ～対前年上昇率「4.4%」上昇・2013年対比「18.5%」上昇～

北海道が9月19日に発表した2017年（H29）7月1日現在の全道の基準地価によりますと、富良野市内の中心市街地地区において、フラノマルシェ及びネーブルタウン周辺の地価が対前年比4.4%上昇し、上川総合振興局管内の商業地では最高の上昇となりました。

富良野市では、2008年（H20）より実施してまいりました中心市街地活性化基本計画に基づく各種事業の効果により、2014年（H26）より4年連続の地価上昇となり、2013年対比で18.5%もの上昇となりました。

地方の小都市で、まちづくりの事業効果により地価の上昇が続いている事例は全国的に稀であり、本市の中心市街地活性化への取り組みの成果と考えております。

■官民一体となった協働のまちづくりを実践

富良野市では、2008年11月に富良野市中心市街地活性化基本計画「計画期間：2008年（H20）11月～2014年（H26）10月まで」が内閣府の認定を受け、この計画に基づく第1期事業として、2010年（H22）に「フラノマルシェ」を開設いたしました。

集客数は初年度の約55万人から右肩上がりの成長を続け、2015年（H27）6月に第2期事業である市街地再開発事業「ネーブルタウン」が完成。「マルシェ2」のオープン後集客数も順調に上昇し、2016年度の実績は入込客数が約121万人となり、今年3月にはオープン以来の来場者数が累計600万人を突破する状況となりました。

これらの事業は、公益的ディベロッパーである「ふらのまちづくり株式会社」が事業主体となって、国の政策に基づき中心市街地の再編を主導し、市は計画策定・補助金等の支援と、官と民がそれぞれの役割分担を明確化し、一体となって取り組む「協働のまちづくり」の成果と考えます。

この度の、本市中心市街地基準地価の上昇は、中活基本計画に基づく事業展開が大きな効果を及ぼしたものとわれ、中心市街地の価値向上と共に商店街の資産価値の向上によって、まちなかの賑わい（活性化）にいつそう拍車がかかっていくものと考えております。

今後も引き続き、本市中心市街地活性化の一つのバロメーターとして地価の推移を注視しつつ、中活基本計画に基づく事業展開を着実に推進していきたいと考えております。



【本件に関するお問い合わせ先】

- 富良野市経済部中心街整備推進課長 黒崎幸裕
TEL：0167-39-2315 Fax:0167-23-2123
- 富良野商工会議所業務課長 木川田正和
TEL：0167-22-3555 Fax:0167-22-3120
- ふらのまちづくり(株) 統括マネージャー 岩本 力
TEL：0167-23-5177 Fax:0167-22-0511